

5. 富士見町地域活性任意団体すずらん娘町 申請資料抜粋

プロジェクト名	入笠山すずらん伝説 in パノラマリゾート
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	富士見町地域活性任意団体すずらん娘町(こまち)・富士見パノラマリゾート ゲストハウスカライ・美肌温泉ゆーとろん水神の湯・(株)スーパーファイン
1. ご当地・施設の特徴	<p>信州富士見町は、長野県の南東、山梨県との県境に位置しており、東に八ヶ岳、西に南アルプス、北に中央アルプス・北アルプス、そして、南に富士山が見渡せる、ロケーションに恵まれた位置にあります。生活圏の標高は700~1,200メートルの高原。夏は大変涼しく、冬は寒いながらも高い晴天率を誇ります。</p> <p>首都圏とのアクセスは車、電車で約2時間程度、中京圏方面にも車で2時間半、また中部横断自動車道開通により山梨から静岡への連絡も容易になり本州内陸にありながら交通の便がとても良い場所です。富士見高原は日本を代表する数々の文人・歌人に愛され、この地を題材にした短歌や詩が数多く歌われ、今でも多くのファンが訪れる町です。さなとりうむの名で知られる富士見高原療養所では映画化された堀辰雄の「風立ちぬ」久米正雄の「月からの使者」などの作品が生まれました。</p> <p>こうして、文人、詩人の制作欲をくすぐる豊かな自然は、自然信仰を尊び育てて来た私たちの祖先が守って来たものです。入笠山山頂に広がる150万本の日本すずらん自生群は本州一とも言われ地域住民がその植生保護に努め、環境維持活動が盛んに行われています。可憐なすずらんの花の容姿と女性を魅了する香りは春を告げる花とされ町の象徴となっています。富士見町と言えば「すずらん」と言われ、初夏の高原に香り高く咲く花に会いに県内外から6万人の観光客が訪れます。春のグリーンシーズンには、花や緑を愛する根強いファンがリピートし、日差しが眩しい夏シーズンには2万人のMTB愛好者がアウトドアを楽しみながら余暇を過ごし、その1割程は外国人利用者でもあります。(コロナ禍以前)最近では、オリンピック選手のトレーニングの場として利用され地域の子供たちとの交流や教室が開催され、子供たちの夢や未来を育む場所としても注目されています。冬のゲレンデ事業では、一般スキーヤーやボーダーの来場を始め、首都圏の学校関係のスキースクール、団体の強化合宿などで20万人が冬シーズンを楽しみます。首都圏から訪れる若者の間では日帰りでスポーツを楽しめる場所として気軽に利用され、年間を通じて誘客が出来るスポットとなっています。</p>

<p>2. 地方創生に結びつく活動目標・目的などについて</p>	<p>信州富士見町でなくてはならないonly oneの観光事業を構築し魅力ある町の発信を行います。地域の魅力を地域の人を知ること地元の魅力発信する人材の育成をすること、また、観光誘客地としておもてなし意識の向上を図り町全体で観光産業の活性化を目指します。若いカップル層に恋人達の聖地として記憶に残る感動を体験してもらう誘客事業を展開し顧客満足度のアップとリピート率の向上を目指します。リピートしてもらえる町になることで関係人口が増え定住人口の増加も見込まれること、他地域と差別化した魅力ある観光事業を提案することで選ばれる町、注目される町となることを目指します。</p> <p>町内向けには幼児期からの地元愛を育める活動を意識し、学生のUターンに繋げ若者の人流を防ぎ子供たちの将来や夢を叶えられる町を目指します。</p>
<p>3. 地方創生に結びつく活動・実績などについて</p>	<p>行政事業としてのシティープロモーション会議に参加し、町の魅力発掘、発信方法について有識者からのアドバイスをいただき地方創生のノウハウを学びました。</p> <p>観光の町であることを強く意識し、現状ある資源を活かす方向で観光に特化し地方創生を考えるグループを作り活動を始めました。</p> <p>富士見町に伝わる民話や地域の人語り継ぐ物語を元に入笠山に伝わるラブストーリー伝説（すずらん伝説）を創作し、恋愛が成就する場所として若いカップル層を取り込む誘客事業を展開します。</p> <p>都会には決して無い深い暗闇と山頂に広がる満天の輝きを放つ星空をすずらん伝説の舞台とし来場されるカップル自身が主人公となる体験型のツアーイベントを企画しました。</p> <p>アフターコロナを踏まえた攻めの誘客事業としてマイカー移動が主流である個人客層、主に若いカップルをターゲットとしたナイトイベントを企画します。コロナ感染防止を謳った応募要項を確立させ募集型イベントにします。来春の誘客に向けSNS発信と共にPVを制作しパノラマリゾートのイメージ映像として流します。</p> <p>チラシ製作と共に関係団体、旅行会社を通じて入笠山すずらん伝説をアピールします。</p> <p>カップルの恋愛成就を祈願する願い守りを販促品として製作し販売収入に繋がります。製造は地元事業者が担当、すずらんの花と白樺の木は町内産を使い地産地消の商品になっています。</p> <p>願い守りはパノラマの Gondola 乗車前に購入してもらい、Gondola 乗車中（約15分）の2人の作業として促します。赤い糸で2つのすずらんをプレートに結び付け完成させます。頂上駅到着後には展望テラスにある恋人達の聖地にアプローチし、そこで男性が女性に大切な思いを伝えます。</p> <p>プロポーズが成功するようにスタッフも応援します。</p> <p>そして、その日が2人にとっての大切な記念日となり願い守りの裏に日付けが記載され持ち帰ります。</p> <p>通常では体験出来ない深い暗闇の中の Gondola 乗車と入笠山頂上に広がる美しい天然のプラネタリウムを体験してもらいます。</p> <p>すずらんの願い守りと共に、流れ星を見ることが出来たカップルは恋愛が成就すると伝え、星が見えなかった場合にもLEDが灯された不定期に光るガラス製のすずらんが観られるよう設置し、その灯りを見ることで同じ効果があるようにします。</p> <p>入笠山すずらん伝説を具現化したナイト Gondola を2人で体験し、その後特別な思いを告白する日にすることで、富士見パノラマリゾートが思い出の場所として2人の大切な場所まさに恋人達の聖地となります。</p>

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)



5月～6月、200万本のドイツすずらんと日本すずらんが咲き誇ります。



地域小学生が、町の花であるすずらんを使い全日本女子バレーボール選手に応援キーホルダーを贈りました。



展望テラスの恋人達の聖地、地域小学生も景色を満喫しています。すずらんが伝説の花であると学びます。



地域小学生がすずらんを施したお薬手帳カバーを作り高齢者と交流パノラマリゾートにて渡す会を設けました。



東京五輪MTB出場の選手がパノラマリゾートを拠点に後進の育成と共に食やスポーツを通じた健康づくりに努める。との記事です。



地域の子供たちがスズランランタンを作り町内主要施設に配布し年間を通してすずらんを楽しんでもらう活動をしました。



町内に咲く本物のすずらの花と町木の白樺を使った願い守りを製作しカップルに販売。
ゴンドラ乗車中に赤い糸に見立てたりボンを2人で結びながら願いを掛ける販促品。



ガラス製の光るスズランを製作し来場者に撮影してもらいSNS発信してもらうモニュメントです。